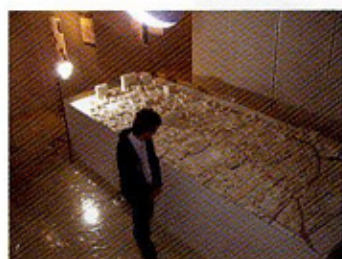


### 「第59回製図・作品展～新宿祭～」を終えて

#### 1部 建築科2年 浅見亮司

平成18年度の「製図作品展」では実行委員長として参加させて頂きました。早い段階からミーティングを重ね、計画を練ってきたつもりではありますが、必ずしも全体を統括できたとは言いきれず、ご迷惑をかけてしまったかもしれません。加えて今年度は1年生不在の中、全体的なパワー不足もあり難しい局面がいくつかありました。しかしながら、例年以上に充実した作品展にすべく、様々なアイデアを持ち寄り、計画を立て、他校の作品展を参考にするなど忙しくも充実した日々を過ごしました。そうして迎えた当日本番も、何らかの作業に追われ、ふと気付くと撤収片付けの時間と

なりました。その中で、日常の授業ではなかなか経験しない、より現実的な問題にぶつかる場面も多く、自分たちの判断が求められ、一つ一つ答えを出していかななくてはならない状況も多々ありました。今こうして振り返ると、仲間と過ごした忙しくも充実した準備段階の日々が、実はかけがえのない時間だったと思います。このような経験をさせて頂いたのは、本校の作品展が、生徒の自主性を重んじてくださっている点が非常に大きいと感じずにはられません。夜遅くまで私達の活動を指導して下さった先生方にも感謝の念がつきません。



「フィールドサーベイ部」では、校内の有志とともに渋谷区本町不動通り商店街を調査研究。1:200の街並み模型(4m×2m)を製作。

建築科2年B組では「茶室」を製作。出来るだけ“かるい”、教室の中にふっと浮くような茶室の製作を試みた。



今年度の製図作品展にあたり、ポスターの公募が行われた。幸運にも私の作品が当選採用となった。心掛けたのは、何よりも「わかりやすさ」。少々安直ではあるが、和のデザインが持つシンプルさと色彩感覚に強い魅力を感じ、花札のデザインを引用させて頂いた。

